

全日本シール印刷協同組合連合会

第21回 シール・ラベル コンテスト 2011

実 施 要 綱

(応募の手引き)

2011年6月 発表

全日本シール印刷協同組合連合会 事務局

監修 技術・特許委員会

応募資格： 連合会傘下各協組の組合員・会友に限ります

応募規定： シール・ラベル印刷機（プリンター・デジタル印刷機を含む）および粘着紙（糊なしを含む巻き取り原反）を必ず使用することとします。なお、原則として仕上げ寸法はA4判以内を受け付けます。

応募部門：

自由課題：（①から⑥）

①レタープレス（平圧式凸版印刷）

②レタープレス（円圧式凸版印刷・輪転または間欠式輪
転凸版印刷）

③オフセット（枚葉印刷は不可）

④複合（2機種以上の印刷・加工機を使用）、ホットスタンプおよびエンボス

※ホットスタンプ箔およびエンボスの面積（特に全体の10%以下の場合）によっては他の部門に振り替えることがあります。

※コールド箔使用時にはその旨応募用紙に明記のこと。

⑤その他（デジタル印刷機、プリンター、シルクスクリーン、フレキソ、グラビア、および①～④に該当しない場合）

⑥アイデア開発部門（版式、機種、通し回数は一切問わない。新規性、創造性をアピールできる作品）

※機種のみでなく版式も応募用紙に明記のこと。

※応募作品の多い版式（例：プリンターでの応募が多いなど）は、部門を分離独立させて個別に審査・授賞する場合があります。

規定課題：（⑦および⑧）

⑦レタープレス（平圧式凸版印刷）の規定課題

⑧レタープレス（円圧式凸版印刷・輪転または間欠式輪転凸版印刷）の規定課題

応募課題：

自由課題：（①から⑥）

基本的にはすべてにおいて自由。

なお昨年より、世界ラベルコンテストへのノミネートを兼ねる場合には、用途の明記と使用されている状態での写真（どうしても用意できない場合のみ後日でも可、しかし受賞時には提出必須です）の提出をお願いします。

規定課題：（⑦および⑧）は各所属協組へ所定の応募用紙を申し込む際にカンパを1部必ず入手すること。

事務局より配信された規定データを使用し、かつ指定された印刷機種にて印刷すること。

データは連合会ホームページよりダウンロードして使用（修正可）すること。製版時の修正や面付けおよび印刷時の流れ方向については制限しません。

⑦レタープレス（平圧式凸版印刷）の規定課題

※印刷は3色特色印刷であり、その仕上がりは支給カンパに近づけること。
通し回数は1回に限ること。

⑧レタープレス（円圧式凸版印刷・輪転または間欠式

輪転凸版印刷) の規定課題

※印刷は4色プロセス印刷であり、その仕上がりは支給されるカンパ(オフセット印刷)に近づけること。通し回数は制限しません。

応募点数：

規定課題は、部門⑦および⑧それぞれ1作品ずつに限ります。

自由は制限なし(ただし、素材を代えての印刷、一部加工による別作品、類似デザイン等の複数応募はご遠慮願います。この場合は社内にて事前選考されてから応募してください。)

授賞：(以下、実績および申請中)

経済産業大臣賞

経済産業省商務情報政策局長賞

(社)日本印刷産業連合会会長賞

全日本シール印刷協同組合連合会会長賞(部門賞、⑥は除

く)

※部門によっては、該当作品なしの場合があります。

全日本シール印刷協賛会会長賞

技術委員会(長)賞=アイデア開発部門賞

優秀賞

※他に特別な賞を新設し授与することがあります。

※審査結果によっては、入賞作品数に変更があります。

審査および審査基準：

審査は1次審査および2次審査を行い、各賞を決定・発表いたします。

審査員（予定）は以下のとおり。

1次審査： 正副委員長を含む連合会技術・特許委員会委員
(原則、各協組から1名ずつ)が、委員会の
内規（審査基準）によって厳正に審査します。

2次審査： 基本的に、賞の授与者（その関係者）を
主たる審査員として招聘します。

1次審査上位作品に対して審査し、
これに加点する方式で授賞作品を決定します。

招聘予定の2次審査員（以下は実績）：

- ・ 経済産業省担当官
- ・ (社)日本印刷産業連合会

- ・ 全日本シール印刷協賛会
- ・ 外部学識経験者（デザイナー等）

審査基準：

1. 自由課題の審査基準

- 1 印刷及び抜き加工の見当精度
- 2 画線のシャープさ（マージナルゾーンの有無）
- 3 網点とグラデーション
- 4 インキのノリとムラの具合
- 5 難易度
- 6 デザイン性
- 7 用途の明記

2. 規定課題の審査基準

- 1 印刷及び抜き加工の見当精度
- 2 画線のシャープさ（マージナルゾーンの有無）
- 3 網点とグラデーション
- 4 インキのノリとムラの具合
- 5 色の整合性（カラーカンパとの類似度）

3. アイデア開発部門の審査基準

- 1 印刷の具合(上記①～④をまとめて審査)
- 2 新規性
- 3 独創性
- 4 機能性
- 5 将来性
- 6 難易度

なお、「部門賞」および「委員会（長）賞」は
技術・特許委員会によって選出されます。

審査会日程：（予定）

- | | | |
|-------|---------|----|
| 1次審査： | 8月5日（金） | 東京 |
| 2次審査： | 8月下旬 | 東京 |

募集（応募）期間と応募規定：

募集（応募）期間：

- | | | | |
|--------|---|---------------|---------|
| 募集開始 | ： | 2011年6月17日（金） | 規定課題配信 |
| 受付開始 | ： | 2011年7月1日（金） | 事務局受付開始 |
| 受付締め切り | ： | 2011年7月22日（金） | 当日必着 |

応募規定：

以下の3点をセットとして1応募作品とします。

(1) 所定の応募用紙 (2011年用以外は失格とします)

に、必要事項を全て記入し、応募作品(印刷・加工したセパレーターは剥がさないでください。貼り替えた場合は失格とします)を貼り付けたものを1応募作品につき必ず3部ずつ作成すること(従来どおり)

(2) 印刷の調子(バラツキの少なさ)を判定するために、原則として100枚連続印刷した状態でロールとして仕上げたものを1巻提出すること。

カストリの有無やスリット加工についてはこれを制限しません。自由課題において仕様やお客様要求する仕様などの事由によりロール状の応募ができない作品は、その説明を明記した文書を添付の上100枚連続印刷したものをビニール袋等に入れて提出すること

(この場合、審査員が協議の上採用の諾否を決定しま

す)。

なお、世界ラベルコンテストにおいてこれまで日本以外の各国からノミネートされた作品はロール状で提出・審査されています。(参考)

(3) 1枚ずつカットした応募作品を100枚、ビニール袋等に入れてまとめたもの(従来どおり)

なお、1次審査では上記(1)(2)を主な審査対象とし

(3)は予備としますが、審査後の資料製作に使用いたしますので美品の提出にご協力をお願いします。

これら3点は同時に連合会事務局宛に送付すること。

(不足がある場合には審査対象外とします)

※上記に関し、枚数不足等の不備があった場合、応募者に返送いたします。それによる、応募期限超過等の責任は応募者が負うこととなります。ご了承、ご注意ください。念のため提出前のご確認とお早目のご提出を重ねてお願い申し上げます。

※なお、所定の応募用紙及び規定課題のキャンプは、連合会事務局ではなく、必ず所属協組に必要な枚数をお申し込み下さい。

発表：

平成23年10月7日。ただし、審査終了後、入賞各社に対してのみ直接、連合会事務局から表彰式出席要請を含め、事前に通知いたします（審査結果に関する事前問い合わせおよび発表等は固くお断りします）連合会ホームページには10月7日以降に審査結果を掲載いたします。

なお、希望する応募者には応募者自身の応募作品に限り、総得点と審査項目毎の得点（内訳）をお知らせいたします。希望する場合には、応募時に応募用紙にチェックを入れてください。応募用紙に希望する旨チェックが無い場合は、事務局からご連絡は差し上げませんので、応募者から直接事務局へお問い合わせいただくようお願いいたします。

表彰式・作品展示：

10月7日（金）「第53回年次大会・京都大会」にて展示。

（他の催事にて作品展示することがあります）

注意事項：

1. 出品に際しては、著作権、版權等で、後日、各方面との間で（クライアント、エンドユーザー、同業者間など）係争など法律上の問題が生じぬよう、各方面の了承を得るなど細心の注意をお願いいたします。
2. 締め切り（必着日）に遅れた場合は、いかなる理由によっても審査対象外とします。ご了承下さい。
3. 応募作品は返却できません。応募作品を連合会主催（共催等も含む）の各種行事の際に、シール・ラベルのPRなどを目的に使用・配布することがあります。
4. 世界ラベルコンテスト応募作品に関しては、別途選考する予定です。（現在設置されている審査部門が国内のコンテストと分類が異なるため、再分類した後に候補選定しております。したがって、再分類の結果国内入賞作品がノミネートされないこともあります）

附記：世界ラベルコンテストへのノミネートについて

第23回世界ラベルコンテスト（2011年9月27日・ブリュッセル）への出展作品の選出（ノミネート）は、本年8月に別途審査員を招き選考審査会が実施されます。その際には当コンテストへの応募作品を上位から順に選考審査いたします。今回からノミネート対象カテゴリーが変更される可能性があるため、出展予定作品数は5月現在未定です。日本からできるかぎり多くの出展を目指すため、コンテストで受賞がなかった作品についてもノミネートの候補となる場合があります。ご了承ください。

世界ラベルコンテストへのノミネート（および受賞）には出展作品の用途が明確であることが望まれています。また、前回コンテストより受賞作品については、実際に使用されている状態（もしくは貼付された商品そのもの）の写真データ提出が必ず要求されています。

したがって、コンテスト応募時には用途の明確な記入をお願いいたしますとともに、写真の添付（写真データの添付）が望ましいと考えております。ご協力をお願いいたします。

世界ラベルコンテストで受賞が決定した場合、本年度よりトロフィー

代として 30,000 円（実費）を負担していただくことになりました。

よろしくお願ひ致します。